

5. 外国語の履修について

外国語の履修にあたり、各学部の必要単位数と履修の要件（各学部の指示事項、学部便覧等）を確認した上で、後述の指示に従い科目を選択してください。なお、各制限事項に反する予備登録・先着順申込（以下、「事前申込」）、履修登録は全て無効であり、単位の認定もされないので注意してください。

(1) 全ての外国語についての注意事項

- ① 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が、外国語科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として算入されます。各科目の単位数は「Ⅱ. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.99～)を参照してください。
- ② 初修外国語の初級の履修にあたっては、原則として以下の通り履修しなければなりません。
 1. イタリア語及び日本語以外は前・後期それぞれに同一言語の2クラス（文法、演習）を履修すること。
 2. イタリア語は通年週2回セットのクラスを履修すること。
 3. 日本語はプレースメントテストの結果に従い、履修クラスを選択すること。
- ③ 入学時に初修外国語初級免除申請（国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/language/remission>) を参照) の手続きにより中級からの履修を認められた学生は、本学で初級の単位を修得することなく中級以上の科目を履修することができます。この場合、学部1回生時は上級回生に配当されている科目を履修することになるため特別履修の手続きを経て履修してください。学部2回生以降は通常の事前申込を行ってください。なお、初修外国語初級免除は初級の単位数が免除されるのではなく、卒業に必要な単位数を中級以上で修得しなければなりません。
- ④ 入学時に認定された既修得単位で外国語の中級以上の科目を履修するための要件を充足した学生が、学部1回生時に当該外国語の中級以上の科目の履修を希望する場合は、前期は4月16日（火）、後期は10月9日（水）のそれぞれ13:00までに全学共通科目学生窓口まで相談に来てください。学部2回生以降は通常の事前申込を行ってください。
- ⑤ 通常、同じ科目名の科目を2つ以上修得した場合は、修得年度・修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として認められません。また、1週間のうちに複数開講されている科目は同一開講期に1つしか履修登録できません。しかし、次の外国語科目は例外として複数履修することが可能です。一開講期に履修できるクラス数の上限は、各外国語のページを参照してください。

[英語リーディング]

[ドイツ語ⅡA・ⅡB、ⅡA（会話）・ⅡB（会話）、ⅡA（CALL）・ⅡB（CALL）、ⅡA（ライティング）・ⅡB（ライティング）、ⅢA・ⅢB]

[フランス語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）、ⅢA・ⅢB]

[中国語ⅡA・ⅡB]

[ロシア語ⅡA・ⅡB]

[イタリア語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

[スペイン語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

[朝鮮語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

[アラビア語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

ただし、同一テキストまたは同一教員が同じ内容で授業を行う科目の重複履修はできません。重複履修不可クラスは、各外国語のページを参照してください。

- ⑥ 原則として、外国語科目名のAは前期、Bは後期を意味しています。修得できなかった中級以上の初修外国語を履修登録する際に、開講期を揃える必要はありません（例：修得できなかった「ドイツ語ⅡB」分の単位を翌年度の「ドイツ語ⅡA」で修得することができます）。英語リーディングは開講期の区別がありませんので、修得できなかった「英語リーディング」分の単位を翌期に開講される「英語リーディング 単位未修得者クラス」で修得することができます。
- ⑦ 事前申込を要する科目は、予備登録期間に履修を希望するクラスを申し込む必要があります。予備登録期間終了後、定員に空きがあるクラスは先着順で申し込みを受け付けます。（p.47 参照）。
- ⑧ 日本語を母語としない外国人留学生は、母語である言語を外国語として履修することが原則としてできません。ただし、学部により取り扱いが異なりますので、各学部の便覧等を確認してください。

(2) 学部 1 回生の履修クラスについて

① 入学予定者サイトで英語、ドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語を選択した場合には履修クラスを指定します。KULASIS の履修登録ページで確認の上、指定されたクラスを履修してください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語を選択した場合は、各自で開講されているクラスの中から選んで履修してください。日本語を選択した場合は、指示に従って履修してください (p.60~参照)。

② 「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」、「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は、自由選択制です。ただし、「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」の履修にあたっては要件があります。「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は通年科目ですので、履修登録した場合(履修取消した場合を除く)、後期に IB (文法)、IB (演習) の履修クラスを指定しません。

③ 学部 1 回生の外国語は全て第 1 回目の授業時間に教室に集合してください(履修クラスが指定されている場合は教科書持参のこと)。履修クラスが指定されていない科目は、履修希望学生が多数の場合に急きょ人数制限を行うことがあります。

英語のクラス編成は、リーディングとライティングーリスニングとで異なりますので、KULASIS [4 月 2 日 (火) 発表] で各自確認してください。

④ 前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 I A」・「フランス語 I A」・「中国語 I A」・「スペイン語 I A」を履修し単位が認定されなかった場合、後期開講の「英語リーディング単位未修得者クラス」・「英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラス」・「ドイツ語 I A 再履修クラス」・「フランス語 I A 再履修クラス」・「中国語 I A 再履修クラス」・「スペイン語 I A 再履修クラス」をそれぞれ履修することにより、当該科目の単位を同一年度に補うことができます。これらは事前申込が必要です。事前申込についての詳細は、「(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込]」を参照してください。ただし、学部 1 回生が KULASIS の外国語予備登録ページにアクセスできるのは後期のみで、前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 I A」・「フランス語 I A」・「中国語 I A」・「スペイン語 I A」を履修し単位が認定されなかった場合に限りです。

⑤ 入学予定者サイトで選択した外国語の変更を希望する場合、また 3 か国語以上の外国語の履修を希望する場合は、前期は 4 月 16 日 (火) 13:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。

後期から英語、ドイツ語またはフランス語への変更または 3 か国語以上の外国語として新規履修を希望する場合は、各自で予備登録してください(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] 参照)。ただし、後期に外国語予備登録ページにアクセスできるのは上記④のただし書きの場合に限られますので、該当しない場合は速やかに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。10 月 9 日 (水) 13:00 まで申し出を受け付けますが、既に定員を充足している場合は履修できません。

後期から日本語の履修を希望する場合は、指示に従って履修してください (p.60~参照)。

なお、中国語、ロシア語、イタリア語及びスペイン語は後期からの新規履修を認めていません。

(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] (一部、学部 1 回生後期を含む)

各外国語とも全て自由選択制となっていますが、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語については、事前申込が必要です。授業開始日前に申し込みの受付が始まりますので、申込期間に注意してください。外国語予備登録ページは予備登録開始日の約 1 週間前から KULASIS に表示されます。

また、外国語予備登録等に関してよくある質問をまとめた「外国語予備登録 Q&A」を国際高等教育院 HP の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内に掲載していますので、参考にしてください。

日本語については p.60~の指示に従って履修してください。その他の外国語については事前申込は不要ですが、履修希望者多数の際は人数制限を行うことがあります。掲示による指示がある場合はそれに従い、ない場合は必ず第 1 回目の授業に出席してください。

《英語単位未修得者クラス、初修外国語中級等・再履修クラス等(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語)の事前申込について》

予備登録等事前申込は、KULASIS から行います。申込者数が定員を超えたクラスは抽選を行います。第 1 回目の抽選に漏れた場合、第 2 回目→第 3 回目→第 4 回目の申し込みができます。4 回とも抽選に参加し、落選した場合は、定員に空きがあるクラスに先着順で申し込むことができます。

なお、予備登録等が必要な通年クラスには前期に申し込むため、後期の予備登録等は必要ありません。

予備登録の手順	1 回の申込につき各カテゴリー毎に 1 クラスを申し込んでください。外国語によって再履修クラスの有無や、クラス定員や登録可能クラス数の上限が異なるので、詳細は各外国語の予備登録上の注意事項を確認してから申し込んでください。1 カテゴリーにつき 2 科目以上の申し込みをする場合は、まず、1 科目のクラスが決定してから、2 回目の申込日以降に 2 科目めの申し込みを行ってください。	
申込方法	予備登録ページ上で、希望クラスを申し込んでください。問題が生じた場合は、全学共通科目学生窓口で相談してください。	
予備登録ページオープン	【前期】3月15日(金)	【後期】9月11日(水)
1) 第1回申込日	【前期】4月1日(月) 8:00~18:00	【後期】9月24日(火) 8:00~18:00
抽選・結果発表	抽選終了後、結果をメールで送信します。結果は KULASIS でも確認できます。落選した場合、及び同一カテゴリーの 2 科目めを申し込む場合は、第 1 回目と同じ方法で以下に従って第 2 回以降に申し込んでください。	
2) 第2回申込日	【前期】4月2日(火) 8:00~18:00	【後期】9月25日(水) 8:00~18:00
抽選・結果発表	【前期】4月2日(火) 申込締め切り後	【後期】9月25日(水) 申込締め切り後
3) 第3回申込日	【前期】4月3日(水) 8:00~18:00	【後期】9月26日(木) 8:00~18:00
抽選・結果発表	【前期】4月3日(水) 申込締め切り後	【後期】9月26日(木) 申込締め切り後
4) 第4回申込日	【前期】4月4日(木) 8:00~18:00	【後期】9月27日(金) 8:00~18:00
抽選・結果発表	【前期】4月4日(木) 申込締め切り後	【後期】9月27日(金) 申込締め切り後
先着順申込受付期間 1	【前期】4月6日(土) 7:00 ~ 16日(火) 13:00	【後期】9月30日(月) 17:00 10月1日(火) 7:00 ~ 9日(水) 13:00
	4 回の抽選後、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に予備登録された科目が表示されます。定員に空きがあるクラスについては、この期間に先着順で申し込みを受け付けます。なお、予備登録が必要なドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語のクラスの履修を希望する大学院生はこの期間に申し込んでください。	
履修登録期間	【前期】4月15日(月)・16日(火)	【後期】10月8日(火)・9日(水)
	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に、先着順申込で履修が許可された科目が表示されます。予備登録・先着順申込ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定してください。	
先着順申込受付期間 2	【前期】4月19日(金) 7:00 ~ 22日(月) 13:00	【後期】10月12日(土) 7:00 ~ 16日(水) 13:00
	履修登録しなかった学生がいた等、定員に空きが生じたクラスには、この期間に先着順で申し込みを受け付けます。	
履修登録・確認修正期間	【前期】4月19日(金) ~ 22日(月)	【後期】10月12日(土) ~ 16日(水)
	先着順申込受付期間 2 に履修が許可された科目が履修登録候補科目設定画面に表示されます。先着順申込ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録確認・修正期間に必ず確定してください。	

※日程は変更されることがありますので、外国語予備登録ページ (KULASIS) で最新情報を確認してください。

(4) CALL について

CALL (コール) とは Computer-Assisted Language Learning の略で、コンピュータを使った外国語学習です。CALL の様式としては、コンピュータを LAN やインターネットなどのネットワークにつないで端末として使う場合と、ネットワークにつながらないで単体として使う場合があります。いずれの場合も、CALL 用に開発した特定の教材を使用する場合と、そうでない場合があります。ネットワークを使う場合は、メールやチャットのような機能を利用することもあり、外国語学習のために作られたウェブサイト (学習サイト) を利用することもあります。また、場所に関しては、曜日・時限・教室という時空間の制限内で行う「教室あり CALL」もありますが、コンピュータさえあればいつでも、どこでも、学習者の都合に合わせて「自律学習」を行う「教室なし CALL」もあります。

自律学習型 CALL では、学習者が時間を自由に使うことができるという点が強みです。外国語の学習には、目標言語に浸り、その言語を使って自分で作業している時間が決め手になる側面がいくつもあります。そういう側面に関しては、限られた時空間の制限内で行う伝統的な授業よりは、自律学習型 CALL のほうが有利なことがあります。

本学の外国語でどのような種類の CALL を行うかは、言語・担当者・クラスなどによって異なります。言語やクラスによっては、教室あり CALL と教室なし CALL を併用する場合や、教室あり CALL に限定する場合があります。

自習用のコンピュータは、学術情報メディアセンター（南館）1階などにあります。

なお、CALL は Learning であり、あえて Teaching と呼んでいません。主役は、教える教師ではなく、学ぶ学生であるからです。CALL では、特に自ら作業することによって学ぶことを心がけてください。

(5) 各外国語科目の説明と履修上の注意事項

A. 英語の科目編成

英語は大別して、リーディングクラスとライティング・リスニングクラスの二つの区分があり、それぞれを履修しなければなりません。前者は、学部の履修方針に応じた学術的な文献やまとまった長さを持つ洋書などのアカデミックリーディングを通じ、英語による学術的教養の涵養を目標としています。後者は、エッセイやレポートなどのアカデミックライティングを通じ、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、オンラインによるアカデミックリスニング課題に取り組むことにより、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力の育成を目指します。いずれのクラスも、大学の英語科目としてふさわしい内容とレベルを考慮しています。

ライティング・リスニングクラスについては、上級者用クラス（「英語ライティング・リスニング A 上級」、「英語ライティング・リスニング B 上級」）を開講します。これらのクラスは自由選択制であり、申請し認められれば、指定クラスの代わりに履修することができます。

平成 30 年度をもって平成 27 年度以前学部入学者対象の英語 II は廃止されました。平成 27 年度以前学部入学者で卒業に必要な英語 I・II の単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修してください。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニング A・B を履修することはできません。

◆ 英 語 ◆

《英語》〔E〕（平成 28 年度以降学部入学者対象）

※事前申込は p.47～参照

科目名	符 号	開講期	単位	対象回生	定員	事前 申込	備 考
英語リーディング	ER	前期	2	1 のみ	約 40	/	学部 1 回生専用クラス・アカデミックリーディング
		後期	2	1 のみ	約 40		
	ESR	前期	2	2 以上	約 60	要	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 60		
英語ライティング・リスニング A	EWLA	前期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		前期	2	1 のみ	約 25		学部 1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLA	前期	2	2 以上	約 50	要	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 50		
英語ライティング・リスニング B	EWLB	後期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		後期	2	1 のみ	約 25		学部 1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLB	前期	2	2 以上	約 50	要	単位未修得者クラス
		後期	2	2 以上	約 50		

【履修上の注意】

◇ 英語は全て半期科目で、各 2 単位です。アカデミックリーディングの英語リーディング（ER）と、アカデミックライティング&アカデミックリスニングの英語ライティング・リスニング（EWLA 及び EWLB）に区分されています。

◇ 学部 1 回生は開講期ごとに、英語リーディングと英語ライティング・リスニングを両方履修してください。

◇4月13日(土)に実施予定の TOEFL ITP 試験の受験を、学部1回生後期以降の英語科目の履修登録の要件としています。英語選択者は必ず受験してください。

◇12月7日(土)に実施予定の TOEFL ITP 試験の成績を、後期開講の英語ライティングーリスニング B の成績評価の一部として利用します。詳細はシラバスで確認してください。

◇英語ライティングーリスニング B 単位未修得者クラスにおいても、成績評価の一部として学部1回生時の後期に受験した TOEFL ITP 試験の成績を利用します。なお、希望すれば改めて TOEFL ITP 試験を受験し、その成績を成績評価の一部として利用することができます。ただし、その受験料(約4,000円)は、履修者の負担とします。

◇英語ライティングーリスニング A・B では、以下の(1)~(3)のいずれかの判断基準を満たす学生を対象に上級クラスを開講します。履修可否を判断するにあたって初回授業の履修姿勢を考慮することがありますので、履修希望者は原則、初回授業を受講してください。履修希望者多数の際は履修(人数)制限を行います。

- 1) TOEFL iBT のスコアが 80 以上の学生、もしくは IELTS のスコアが 6.0 以上の学生
- 2) 学部1回生の4月に一斉受験する TOEFL ITP で 600 点以上のスコアがあった学生(「英語ライティングーリスニング B 上級」履修の場合に限る)
- 3) 英語を日常的に使用する環境(外国の学校、インターナショナルスクールなど)で教育を受けた学生のうち、国際高等教育院で実施する資格審査に合格した学生

申請期間や申請方法、オンラインリスニング課題の取り扱い、成績評価方法などの詳細については、ガイダンスやリスニングオフィスアワーにおいて説明します。詳細は前期は4月初旬、後期は9月下旬に掲示します。

◇学部1回生専用英語リーディング及び英語ライティングーリスニングは事前申込が不要ですが、単位未修得者クラスは事前申込が必要です。

予備登録等については、国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。

◇英語リーディングの単位が不足している場合は、開講期に関係なく単位未修得者クラスを履修してください。例えば、前期開講の英語リーディングの単位を、後期開講の英語リーディング単位未修得者クラスの単位で補うことが可能です。

◇前・後期にかかわらず、英語リーディング単位未修得者クラス、英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングーリスニング B 単位未修得者クラスが開講されますが、一開講期に履修できる単位未修得者クラスは、原則英語リーディングが1クラス、英語ライティングーリスニング A または B から1クラスです。なお、この場合も英語ライティングーリスニングは A を先に履修することを推奨します。ただし、その開講期終了時の卒業や進級・コース分属などのため、当該期に英語リーディング単位未修得者クラスを2クラス、または英語ライティングーリスニング A および B 単位未修得者クラスの履修を希望する学生は、前期は4月22日(月)、後期は10月16日(水)のそれぞれ13:00までに全学共通科目学生窓口申し出てください。1クラス目は各自で事前申込をしてください。

◇学部1回生の後期開始段階で英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A の単位を修得していない場合は、学部1回生の後期に対応する単位未修得者クラスを履修し、不足単位を補うことができます。ただし、英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングーリスニング B の並行履修は推奨しません。前期に英語ライティングーリスニング A の単位を修得していない学生は、後期に英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスのみを履修することを推奨します。

◇英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A・B に相当する既修得単位がある学生が、残りの英語の不足単位分を修得する場合は、英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A・B を履修するのが原則です。

◇大学院生は、英語を履修することができません。

◇工学部地球工学科国際コースに所属する学生と工学部地球工学科に所属する Kyoto iUP 生は、次のクラス指定されている英語を履修してください。

科目名	開講期	単位※	対象回生	事前申込	備考
Scientific English I A (Reading and Writing)	通年	4	1 以上	/	工学部地球工学科国際コース1回生、工学部地球工学科 Kyoto iUP 生クラス指定科目
Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)	通年	4			

※平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として参入されます。